

令和6年度 事業報告書

社会福祉法人 あさひ会

作成日 令和7年5月26日

作成者 高野健

1. 理事会・評議員会・評議員選任・解任委員会

開催日	出席人数	議題
第99回 理事会 5月29日（水）	理事6名出席 監事1名出席 オブザーバー1名	第1号議案 令和5年度事業報告承認の件 第2号議案 令和5年度決算承認の件 第3号議案 業務監査、会計監査の件 第4号議案 運営規程変更承認の件（東豊中サンライズ第9条） 第5号議案 就業規則変更承認の件（定年引上げ） 第6号議案 令和6年度あさひ会作業所予算変更承認の件 第7号議案 評議員会開催の件
第66回 評議員会 6月19日（水）	評議員7名 欠席者1名 理事1名 オブザーバー1名	第1号議案 令和5年度事業報告承認の件 第2号議案 令和5年度決算承認の件 第3号議案 役員選任の件
第100回 理事会 11月28日（木）	理事6名出席 監事2名出席 オブザーバー1名	第1号議案 期中監査承認の件 第2号議案 評議員選任・解任委員選任の件 第3号議案 スプリンクラー制御盤修理の件
第101回 理事会 2月7日（水）	理事4名出席 監事2名出席 オブザーバー1名	第1号議案 カスタマーハラスメントの件
第102回 理事会 3月19日（金）	理事4名出席 監事2名出席 オブザーバー1名	第1号議案 カスタマーハラスメント及び運営における要望の件
第103回 理事会 3月28日（金）	理事4名出席 監事2名出席 オブザーバー1名	第1号議案 令和7年度事業計画承認の件 第2号議案 役員賠償責任補償制度加入の件 第3号議案 人事の件 第4号議案 令和7年度予算承認の件 第5号議案 第三者委員の件

2. 利用者年齢層

あさひ会作業所						
		30歳以上	40歳以上	50歳以上	60歳以上	合 計
男		1	3	6	3	13人
女			3	3	1	7人
東豊中サンライズ						
				50歳以上	60歳以上	合 計
男				3	2	5人
服部西町ホーム						
			40歳以上	50歳以上	60歳以上	合 計
男			2	3		5人
女			1	3	1	5人

3. 職員配置

3月31日時点

	あさひ会作業所 20名	東豊中サンライズ5名	服部西町ホーム10名
管理者	常勤1名	常勤1名	
サービス管理責任者	常勤1名	(兼務)	
生活支援員	常勤2名 非常勤4名 派遣1名	非常勤3名	非常勤12名
世話人		非常勤2名	非常勤4名
調理員	外部委託1名		
運転手	非常勤1名		
看護師	非常勤1名		
合 計	常勤4名 非常勤6名 派遣1名 委託1名 計12名	常勤1名 非常勤5名 計 6名	非常勤16名 計 16名

4. 雇用関係

採用者	常勤	非常勤	年齢層
あさひ会作業所	3名	2名	・常勤30代 ・非常勤 60代・派遣 60代
東豊中サンライズ		2名	・非常勤 50代、60代
服部西町ホーム		2名	・非常勤 50代、70代

退職者	常勤	非常勤	在籍年数
あさひ会作業所	4名	1名	・常勤 (2ヶ月) (2ヶ月) (1年) (7年10ヶ月・産休育休含む) ・非常勤 (5年6ヶ月)
東豊中サンライズ	1名	4名	・常勤 (8年) ・非常勤 (3ヶ月) (7ヶ月) (1年10ヶ月) (10年、契約満了)
服部西町ホーム		1名	・非常勤1名 (4年、契約満了)

5. 年次有給休暇取得

あさひ会作業所	有給対象職員数 10名
有給保有日数	206.5日
有給取得日数	91.5日
取得率	44%
東豊中サンライズ	有給対象職員数 6名
有給保有日数	90日
有給取得日数	54日
取得率	60%
服部西町ホーム	有給対象職員数 15名
有給保有日数	160日
有給取得日数	75日
取得率	46%

6. 会議状況

(内部会議)	開催状況	対象者
スタッフ会議	月1回	生活支援員
支援評価・ケース総括	6ヶ月毎	生活支援員・ホーム支援員
個別支援計画モニタリング	3ヶ月毎	生活支援員・ホーム支援員
個別支援計画担当者会議	6ヶ月毎	生活支援員・ホーム支援員
グループホーム告知、周知	個別対応	ホーム支援員
授産事業会議	年1回	生活支援員
自主製品会議	年1回	生活支援員
食事運営会議	年1回	作業所スタッフ・調理師
定例会	年2回	生活支援員

(外部会議)	開催状況	対象者
啓発活動委員会 本体会議	年4回	啓発活動運営委員
なかまの店運営委員会	年6回	なかまの店参加事業所
グループホーム事業者連絡会	年6回	グループホーム事業所
日中活動事業者連絡会	年3回	日中活動事業所
素のままがええやん常設委員会	年5回	豊中市障害者啓発活動委員会
素のままがええやん実行委員会	年2回	豊中市障害者啓発活動委員会
とよなかアーツパーラー参加	年2回	豊中市障害者啓発活動委員会

7. 研修報告

研修名	開催状況	内容
新規採用研修 【グループホーム職員】【作業所職員】	採用時	・服薬介助で注意すべき点 ・虐待防止研修
虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会 【グループホーム職員】【作業所職員】	6月	・虐待防止研修 ・ヒヤリハット事例について

研修名	開催状況	内容
感染症対策研修 【グループホーム職員】【作業所職員】	7月	・ 感染対策マニュアル内容の周知
定例会 【作業所職員】	1月	・ 報告、連絡についての手順
感染症対策研修 【グループホーム職員】【作業所職員】	2月	・ 防護服の着脱（実地）
BCP 【グループホーム職員】【作業所職員】	3月	・ 災害発生直後のフローチャート ・ 簡易トイレ設置
人権研修 【グループホーム職員】【作業所職員】	3月	・ 人権啓発 DVD を観て学ぶ

8. ヒヤリハット報告

発生日	場面	対応・原因・結果
5月14日	作業所にて、昼食後、薬が1錠床に落ちていたが、他の職員が気づき服薬を済ませた。	提供した職員は薬が利用者の口腔内に入るまでは見届けていなかった。再度手順の確認をした。
5月27日	作業所にて、職員と話し合っていた利用者に対して「うるさい」と出合い頭に頭を叩いた。	職員と話し合っていた利用者も場所を変えることができず、終始不安定な情緒であった。叩いた利用者も日頃の我慢が限界にきたように思えた。両者とも職員はついていたが突発的で対応ができなかった。
9月6日	帰りの送迎時に乗車しようとした際、足に力が入らず前のめりになり両すねを車のステップに擦ってしまった。ホーム到着後、歩き方がおかしいと連絡があった。	その日に整形外科に受診したが骨には異常なく、医師からは擦り傷に絆創膏を貼ることで対応するよう指示があった。 以降、乗り降りが比較的楽な送迎車に変更した。

発生日	場 面	対応・原因・結果
2月12日	グループホームを利用されているご家族から「作業所、ホームに行きたくない」と本人が言っていると連絡があった。	利用者の方に話を聞くと、グループホームで他の利用者がハンカチを紛失した際に自分が盗ったと言われているから行きたくないとの事だった。 ハンカチは盗られたと訴えがあった利用者の衣類から発見できた。誤解があった事を当事者間で話し合った。
2月13日	作業所にて、2日続けて昼食時に利用者の方が他の利用者のおかずを食べてしまった。	調理師さんに食べられたおかずは補充してもらった。職員が他の利用者に対応したタイミングであった。

9. 事故報告

発生日	内 容	対応・原因・結果
4月14日	グループホームにて、昼食後薬を次週分も同時に飲ませてしまう。	経過観察を行い、体調の変化は見られなかった。職員からは「日付を見ていなかった」と連絡があった。
4月26日	グループホームにて、2種類の薬を1種類のみ服用して1種類の薬の飲み忘れがあった。	ホッチキス止めで2種類の薬セットにしていたが、「ホッチキス止めが外れていて分からなかった」との報告があった。再度、服薬の手順を本人と実施した。
5月17日	グループホームにて朝食後薬の提供が夕食後薬を提供してしまった。	朝の送迎時の薬チェックも職員が怠っていたので気づけなかった。 グループホーム職員には防犯カメラの映像を写真にして、本人の動作確認をした。
6月14日	通院時の駐車をする際、送迎車左側面をポールに接触させてしまった。	初めて行く場所で狭い駐車スペースに焦ってしまった。目視だけではなく車から降りて確認するべきだった。

発生日	場 面	対応・原因・結果
6月18日	グループホームにて薬をセットした際、夕食前の薬が残ったまま服薬していないことが分かった。	当日勤務した職員に聞き取りをするが、「知らない」との事だった。週末の出来事で週明けまで気づけず、他の職員も薬が残っていることに無関心であった。
9月5日	グループホームにて、朝食後薬を飲ませていないことを翌日に分かった。	送迎時の服薬チェックも形骸化になっており、改めて、服薬一覧表を配布して、グループホーム、作業所職員に再発防止に努めるよう通達した。
10月19日	グループホームにて、居室内押し入れの木枠に額を打ち付けて血を流していた。	豊中脳神経外科にて受診。5針縫う処置を受ける。どのような状態で額を打ち付けたかは分からなかった。室内でもヘッドギアを装着することで対応になった。
12月17日	通院先の駐車場で縁石に乗り上げ車体後方を擦ってしまう。	不慣れな場所や狭い駐車スペースは焦ってしまう為、近隣のコインパーキングで駐車するように改善した。

10. 授産活動 収入表

業 者 等	令和5年度収入	令和6年度収入
1. (有)アユータ	71,196	271,478
2. エムズワーク松岡	24,366	11,201
3. 福祉の店なかま	70,931	19,960
4. 園路清掃	412,500	412,500
5. 太鼓演奏	0	10,000
6. 自主製品	170,880	164,530
合 計	749,873	889,669

●一人当たり工賃支払い額 月額3,000円 賞与年2回 6,000円

●収入889,669－840,000（20人分工賃額）＝49,669円

1 1. 年間行事記録表

4月	・軽運動・創作アート・太鼓練習
5月	・軽運動・伊丹スカイパーク・みんなの会・創作アート・太鼓練習
6月	・軽運動・太鼓練習・創作アート・太鼓練習
7月	・七夕まつり・軽運動・室内太鼓練習・創作アート
8月	・DVD鑑賞・室内レクリエーション・太鼓練習・創作アート
9月	・梅花高校文化祭・DVD鑑賞・室内レクリエーション・軽運動・創作アート
10月	・仮装・なかまの店・軽運動・太鼓練習
11月	・軽運動・なかまの店・創作アート・太鼓練習・みんなの会
12月	・「素のままがええやん、アート、パネル、販売、ステージ」・「GHパネル展」・クリスマス会・軽運動・DVD鑑賞・みんなの会
1月	・ビンゴ大会・軽運動
2月	・節分豆まき・軽運動・なかまの店
3月	・ひなまつり・軽運動・なかまの店・体育・みんなの会

1 2. 消防関係

● あさひ会作業所 機器点検・総合点検 令和6年11月25日

消火器具	異常なし
スプリンクラー	ポンプ制御盤不良 改修済み
自動火災報知設備	異常なし
消防機関へ通報する火災報知設備	異常なし
避難器具	異常なし
誘導灯	異常なし
坊排煙制御設備	異常なし

避難訓練日時	10月17日(木)午前10:02分~05分
参加人数	利用者20名 職員9名 調理師1名
出火想定場所	あさひ会作業所1階 調理場
・新規職員がエレベーターを使用して避難しようとしたので、再度周知しなければいけなかった。	

避難訓練日時	3月18日(火) 午前10:30分~33分
参加人数	利用者18名 職員7名 調理師1名
出火想定場所	あさひ会作業所1階 調理場
<p>・1階玄関まで避難した後、自動ドアの前で利用者の方々が立ち止まった為、駐車スペース奥まで誘導することができなかった。</p>	

● 東豊中サンライズ 機器点検・総合点検 令和6年5月1日

消火器具	2本取替交換
火災報知設備	異常なし
誘導灯	異常なし
特定小規模施設用 自動火災報知設備	異常なし
パッケージ型自動消火設備	異常なし

避難訓練日時	10月18日(金) 午前9:10分~12分
参加人数	利用者5名 職員2名
出火想定場所	1階キッチン
<p>・全利用者が問題なく避難できた。</p>	

避難訓練日時	3月31日(月) 午後5:25分~30分
参加人数	利用者5名 職員2名
出火想定場所	1階キッチン
<p>・ふらつきの強い利用者1名を二人体制で先に誘導した後、他の利用者もスムーズに避難できた。</p>	

● 服部西町ホーム 機器点検・総合点検 令和6年5月7日 10月18日

消火器具	異常なし
スプリンクラー	異常なし
自動火災報知設備	異常なし
消防機関へ通報する火災報知設備	異常なし
避難器具	異常なし
誘導灯	異常なし

避難訓練日時	10月17日(木)午後4:30分~33分
参加人数	利用者10名 職員3名
出火想定場所	服部西町ホーム1階 リビング
<ul style="list-style-type: none"> ・1階利用者の方で避難訓練を拒否され移動することができなかった。 ・2階利用者の方で車イスの方は歩いて避難できなかった為、リビング非常階段、和室側、ベランダに移動することを想定して対応した。 	

避難訓練日時	3月31日(月)午後6:31分~35分
参加人数	利用者3名 職員1名
出火想定場所	2階リビング
<ul style="list-style-type: none"> ・2階リビングの出火を想定した場合は車イスの方は前回同様の避難では困難の為、東側ベランダに移動、救助を待つ、若しくは布団を用いて運搬することを想定した。 	

避難訓練日時	3月31日(月)午後6:27分~28分
参加人数	利用者5名 職員1名
出火想定場所	1階リビング
<ul style="list-style-type: none"> ・玄関からの避難は問題なかった。1階は和室側の掃き出し窓や東側の掃き出し窓からも避難できることも想定した。 	

13. まとめ

令和6年度はBCP（業務継続計画）の義務付けがなされました。小規模の法人では体制も最少人数の為、作業所、グループホームの担当役割が重複しているのが現状です。非常災害時は自分自身の命や家族の命を最優先した後に現場にかけつける為、災害当日勤務をしている職員は精神的にも体力的にも非常にハードワークが想定されます。

改めて当法人は災害時においては生活介護を休止して共同生活援助を優先します。生活介護事業所のスペースも生活の場に変更されます。復旧状況に応じて再開を目指します。

事故報告書においては服薬事故が複数発生しました。1人～2人の方が複数回同じ事故を繰り返しました。その他職員の方は適切に対応している方が大半です。過去の事例を分析しても新規採用の方が服薬事故を起こす確率が高いです。現在の手順で大半の職員が理解して実行していますが、それでも服薬事故が発生するのであれば、現在の手順に到達するまでの前段階の手順（概ね服薬提供を別の職員が代替する）（一覧表に顔写真、時系列に服薬を貼り付ける）等、一定期間導入することを検討します。

「素のままがええやん！♪」障害者週間啓発イベントが豊中市立文化芸術センター大ホール、多目的室で12月4日（水）～6日（金）までの期間、開催されました。本イベントはそれまで別々に開催していた「障害事業者パネル展」「障害者アート展」「障害者パフォーマンス・素のままフェスタ」「授産品販売」の企画を統合することで、新たな一歩を踏み出しました。

「和太鼓演奏」につきましては、60歳代の方々が多数在籍していますので、体力的、個々の好き嫌いが明確になってきましたので、一同でパフォーマンスをすることは大変難しくなってきました。演奏に参加できる体制も柔軟性をもって取り組んでいきたいと思えます。